

前議長の宮田氏

住民監査請求へ

市川市議らの政活費

切手大量購入問題

市川市議が政務活動費で大量に切手を購入した問題で、切手を市政アンケートの返信用はがきに使ったという市議ら四人の説明は真実と信じるに足る証拠に欠けており、四人が返金した政活費の遅延損害金分も支払うよう市に求める住民監査請求を、前議長の宮田克己氏(みさき)が起すことが七日、分かった。

四人は現職の小泉文人、松永鉄兵、青山博一の三議員と元議員の鈴木啓一氏。請求書によると、切手購入の根拠となった市政アンケートが印刷された証明はなく、購入した切手は換金、着服されたと考える方が合理的、と資料約百枚を添え主張している。切手代と印刷代計約四百八十三万円余は返金されたが、請求書は「経済損失の回復には年5%の遅延損害金も必要」と訴えている。

宮田氏は「不正支出の可能性が高いのに責任追及には到底至っていない。信頼回復のため事実をはっきりさせたい」と話している。